



平成 30 年 5 月 30 日

報道機関各位

平成 30 年（地独）北海道立総合研究機構 建築研究本部 研究成果報告会

道総研建築研究本部が取り組んでいる建築・まちづくりの研究について、平成 29 年度終了課題を中心に近年の研究成果を報告します。口頭発表、ポスター発表を行うほか、第 3 部の全体討論会では、スマートフォンを利用したリアルタイム質問システムを用いて参加者の皆様と意見交換を行う予定です。多くの皆様にご来場いただけますよう、ご案内いたします。

なお、本報告会は平成 26 年より旭川市と札幌市において交互開催としており、本年は旭川市のみでの開催です。

- ◎日 時 平成30年**6月6日**（水） 10:00～16:40
- ◎場 所 旭川クリスタルホール（旭川市神楽3条7丁目）
- ◎プログラム 別添チラシのとおり
- ◎対 象 建築・住宅産業関係者、市町村等行政関係者、研究テーマに関心のある一般の方
- ◎参加費、申込等
参加費無料・定員 500 名
(当日受付も可能ですが、できる限り事前申込みいただきますようお願いいたします。)
- ◎報道（取材）に当たってのお願い
開催に関する事前の報道及び当日の取材について、よろしく願いいたします。
- ◎同時配付先 上川総合振興局記者クラブに対しても資料提供しております。

<お問い合わせ>

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構（道総研）

建築研究本部 企画調整部 企画課（担当者：廣田・立松）

電話 0166-66-4218 ※平日 8:45～17:30 土・日・祝日はお休みです。

URL <http://www.hro.or.jp/list/building/>

平成30年 研究成果報告会



その先の、道へ。北海道
Hokkaido, Expanding Horizons.



道総研建築研究本部が取り組んでいる建築・まちづくりの研究について、平成29年度終了課題の研究成果を中心に報告します。昨年好評だったリアルタイム質問システムを活用した質疑応答を行うほか、今年は研究員と直接話せるポスター発表を実施しますので、多くの皆様にご来場いただけますよう、ご案内申し上げます。

とき 平成30年6月6日(水) 10:00~16:40

ところ 旭川市大雪クリスタルホール (旭川市神楽3条7丁目)

プログラム

口頭発表	9:30	開場
会場:大会議室	10:00	開会
	10:10	第1部 建築性能試験センター
	10:45	第2部 北方建築総合研究所
	15:40	第3部 全体質疑
	16:40	閉会

ポスター発表 11:40~13:00 口頭発表を行う各研究員がご意見、ご質問に対して詳しく説明します。
会場:第2・3会議室

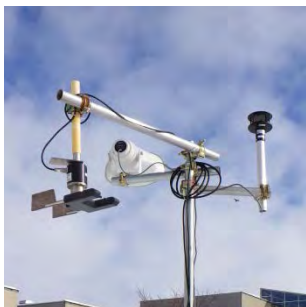
お問合せ・申込み先

建築研究本部 企画調整部企画課
TEL0166-66-4218 FAX0166-66-4215
E-mail: nrb@hro.or.jp

参加費無料 定員150名
申込締切 5月31日(木)
別紙の参加申込書によりお申し込みください。

本報告会は、公益社団法人日本建築士会連合会の”CPD制度認定講習会(予定)”です。

主催 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 建築研究本部



建築研究本部 平成30年 研究成果報告会

参加申込書

返信先FAX番号 0166-66-4215

メールアドレス nrb@hro.or.jp

申込締切 5月31日(木)

会社名・所属		
ご住所(市町村名まで)		
代表者連絡先	電話	メール
参加者氏名	() () ()	
質疑応答で聞いてみたい ことがありましたらご 記入ください		

参加ご希望の方は、必要事項をご記入の上、FAXいただくか、同じ内容をメールでお知らせください。
申込み状況により締切日以降も参加を受け付けますのでお問い合わせください。



会場

旭川市大雪クリスタルホール
(旭川市神楽3条7丁目)

口頭発表:大会議室
ポスター発表:第2・3会議室

JR旭川駅から会場までのアクセス

徒歩 駅南口西側出入口からクリスタル橋
を通過して10分程度

タクシー 540円程度

地方独立行政法人

北海道立総合研究機構 建築研究本部

建築研究本部では環境負荷を低減し、良質で安全な暮らしや地域・産業を支える住まい、建築、地域づくりに関する研究開発を行い、道や市町村、関連企業、団体に対する普及・技術支援を行っています。 <https://www.hro.or.jp/list/building/>

建築性能試験センター



従来からご利用いただいていた建築に関する各種試験・性能評価および構造計算適合性判定と、評価・測定・解析技術の向上等を目指した基盤的な調査研究の推進等のため、2018年4月から組織を改編し「建築性能試験センター」として業務を開始しました。

札幌オフィス 〒060-0003札幌市中央区北3条西7丁目 別館西棟4F
電話011-204-5362(代表) / FAX011-232-6944

旭川オフィス 〒078-8801旭川市緑が丘東1条3丁目1-20
電話0166-73-6090 / FAX0166-66-4215

北方建築総合研究所

積雪寒冷な北国の住まい、建築、地域づくりに関する研究開発を行うとともに、「きた住まい」制度や「北海道の地域防災計画」などの政策推進を支援しています。

〒078-8801旭川市緑が丘東1条3丁目1-20

電話0166-66-4211(代表) / FAX 0166-66-4215

地方独立行政法人北海道立総合研究機構 建築研究本部
平成30年 研究成果報告会 プログラム

10:00 開会あいさつ

第1部 建築性能試験センター

○印は発表者

10:10 建築性能試験センターの業務紹介

建築研究本部では、従来の構造計算適合性判定センター(札幌)と性能評価課(旭川)を統合し、今年4月から新たに「建築性能試験センター」として業務を開始しました。新しいセンターで行う、各種技術支援業務についてご紹介いたします。

10:15 安全性能部の研究展開

10:20~10:45
セッション1
構造安全性

建築性能試験センターでは、評価・測定・解析技術の向上等を目指した基盤的な調査研究を行っています。その中から、木造と鉄筋コンクリート造を対象とした、構造安全性に関する研究成果を報告します。

- 「北海道の木造住宅の形態的な特徴が耐震性評価に及ぼす影響」(道受託研究:終了)
○千葉隆史・渡邊和之・本間裕二・宮内淳一
- 「鉄筋コンクリート異形柱の耐力評価」(経常研究:実施中)
○本間裕二・森松信雄・宮内淳一

第2部 北方建築総合研究所

10:45 地域研究部の研究展開

10:50~11:40
セッション2
防災・雪対策

環境防災グループが中心で取り組んでいる研究から、津波に強い地域づくりを目指した研究、災害発生時の重要な情報伝達手段である屋外防災スピーカーに関する研究、また、山間部における環境アセスメントや雪国における交通インフラ維持に不可欠な雪対策について報告します。

- 「津波被災地における市街地の復旧・復興に関する課題の明確化」(経常研究:終了)
○福井淳一・石井旭(法人本部)・鈴木大隆
- 「屋外防災スピーカーに影響を及ぼす気象・周辺環境の把握」(研究開発推進費:終了)
○飯泉元気・堤拓哉・廣田誠一・戸松誠・石井旭(法人本部)
- 「融雪電源が使用できない環境下における風向風速計の雪対策」(一般共同研究:終了)
○堤拓哉・月館司・下ノ菌慧 共同研究機関:建設環境研究所
- 「鉄道用防風柵の防雪効果の検証と性能向上」(一般共同研究:終了)
○堤拓哉・下ノ菌慧 共同研究機関:東日本旅客鉄道

ポスター発表 11:40~13:00 会場:第2・3会議室

口頭発表を行う研究職員がご意見、ご質問に対して詳しく説明します。



13:00~13:35
セッション3
地域計画

地域システムグループの研究から、「その地域で暮らすことの価値」を評価する試み、コミュニティバス、相乗りなどの組合せやヒトとモノの輸送を統合したシステムによる地域交通の持続可能性向上、農村集落に関する道総研戦略研究の取り組み状況を報告します。

- 「地域定住促進に向けた『地域生活価値』を構成する要因と構造の分析」(経常研究:終了)
○牛島健・馬場麻衣・岡村篤
- 「小規模市町村における持続可能な地域交通」(経常研究・職員奨励事業:終了)
○岡村篤・阿部 佑平・佐々木優二・福井淳一
- 「農村集落における生活環境の創出と産業振興に向けた対策手法の構築
ー居住地集約化と地域運営組織による生活利便性の確保ー」(戦略研究:実施中)
○福井淳一・牛島健・石井旭(法人本部)・馬場麻衣・岡村篤・佐々木優二・戸松誠・竹内慎一
(道総研戦略研究「地域」チーム)

13:35 建築研究部の研究展開

13:40~14:40 セッション4 **建築技術** 建築システムグループと道総研の各研究機関が連携して実施した重点研究2課題について、代表機関の研究者を交えて成果報告を行います。また、道が推進する「きた住まいる」先導型ブランド住宅のガイドライン提案について報告します。

- 「カラマツ中大径木による心持ち平角材の利用拡大技術の開発」(重点研究:終了)
カラマツ心持ち材の乾燥・加工技術
林産試験場：○中畠厚・清野新一・藤原拓哉
カラマツ心持ち材利用拡大に向けた住宅技術開発
北方建築総合研究所：○糸毛治・齋藤茂樹
- 「積雪寒冷地におけるコンクリート劣化の分析評価技術の開発」(重点研究:終了)
X線CT、EPMAを用いた劣化評価手法の開発
工業試験場：○板橋孝至・田中大之・高橋英徳
新たな劣化分析手法を活用した凍害劣化予測モデルの検討
北方建築総合研究所：○谷口円・松村宇・糸毛治
- 「『きた住まいる』先導型ブランド住宅に関する研究」(道受託研究:終了)
○齋藤茂樹・古屋剛・高倉政寛・月館司・阿部佑平・下ノ蘭慧・飯泉元気

14:40~14:55 休憩

14:55~15:40 セッション5 **エネルギー** 住宅の高断熱化に伴いニーズが高まっている小容量の電気暖房システムや、エネルギーに関する道総研戦略研究で取り組んでいるエネルギーベストミックスの検討について報告するほか、国の建築物省エネ基準策定に携わっている本部長・鈴木大隆より、2020年の建築物省エネ基準義務化に向けた動向について話題提供を行います。

- 「住宅向けコンパクト電気暖房システムの開発」(一般共同研究:終了)
○北谷幸恵・月館司・下ノ蘭慧 共同研究機関：北海道電機
- 「地域・産業特性に応じたエネルギーの分散型利用モデルの構築
ー施設群のエネルギーベストミックスー」(戦略研究:実施中)
○月館司・堤拓哉・阿部佑平・下ノ蘭慧・立松宏一
(道総研戦略研究「エネルギー」チーム)
- 「住宅・建築物の省エネ基準等の動向と北海道としての課題(仮)」(話題提供)
建築研究本部長 鈴木大隆

第3部 全体質疑

15:40~16:40 スマートフォンを用いてその場で質問できる「スグキク」を用いて、各発表に対する質疑、ご意見をお受けします。ぜひご参加いただき、活発な議論をお願いします。質問用紙での質問も可能です。

16:40 閉会

